

出前美術館

講師謝礼や派遣旅費等
一切かかりません！

● 出前美術館とは

出前美術館は、県内に在住する美術の作家や美術館学芸員が学校に出向き、制作の指導や鑑賞授業を行うプログラムです。子どもたちは、作家とともに作品を制作することで「つくりだす」という基本的な美術の楽しさを味わいます。作家からは、作品に込めた思いや表現の工夫、なぜ作家を目指したのかなど、さまざまなお話を聞くことができます。作家とのコミュニケーションは、普段の美術の授業では得られない貴重な経験になります。鑑賞授業では、新津美術館の所蔵品を元に制作したアートカードを使用し「見る・考える・話す・聞く」といった鑑賞のための基本的な力を身につけます。

出前美術館のポイント

1. 普段の授業に生かせる実践的な授業。
2. 作家とのふれあい、本物の作品との出会い。
3. 2時限で完結。

● 授業までの流れ

- ①申込み...同封の申込用紙にご記入の上、FAX、メール、連絡便等でお申込みください。
- ②決定.....館内で選考を行い、決定通知をお送りします。※申込み多数の場合は抽選となります。
- ③打合せ...担当教員、講師、美術館職員で事前打合せを行います。
教員の方々のご要望、クラスの現状等を確認し、授業目標を設定します。
※内容によって、お電話やメールでの打合せとさせていただきます。
- ④計画.....事前打合わせの内容を踏まえ、美術館職員が授業計画書をお送りします。
- ⑤授業.....講師、美術館職員が貴校・園にうかがい授業を行います。
※講師謝礼は美術館が負担します。
- ⑥報告.....フィードバックとして、簡単なアンケートにお答えください。

● 申込み

実施期間：令和2年6月～令和3年2月

※開催日及び講師については相談、調整させていただく場合があります。

※期間外の日程をご希望の場合はご相談ください。

申込期間：令和2年5月18日（月）締切

決定通知：令和2年5月25日（月）頃

申込方法：別紙の申込用紙にご記入のうえ、FAX、メール、連絡便にて新潟市新津美術館までお申込みください。

※講師への謝礼、交通費等は美術館で負担します。

※ワークショップなどの材料、用具などは、学校でご用意いただく場合があります。

● **授業の展開例** ※講師は変更の可能性があります。

プログラム 1. 簡単マンガ教室【6月～8月】

新潟市マンガ・アニメ情報館の近藤康宏先生から、キャラクターの顔や全身、手足、ポーズなどデッサンの方法を教わります。普段の図画工作、美術の授業に役立つコツも多く、後半の質疑応答では、「マンガ家になるには？」や「女の子はどう描くの？」など、毎回多くの質問やリクエストが飛び交います。



〈講師プロフィール〉

近藤 康宏

新潟市出身。日本マンガ・アニメ専門学校卒業。
新潟市マンガ・アニメ情報館の職員として、展覧会の運営に携わるとともに、新潟市内の小・中学校で、マンガデッサンの講座を開催している。

●**授業例** (120分の場合)

はじめのあいさつ	5分
先生のお話、作品の鑑賞	15分
マンガデッサン（顔の描き方）	35分
休憩	10分
マンガデッサン（身体の描き方）	35分
質疑応答	15分
終わりのあいさつ	5分

●**学校で用意していただくもの**

鉛筆、消しゴム、A4コピー用紙など

プログラム 2. 絵本を読んで「オリジナルのライオンを描いてみよう！」【9月～11月】

絵本作家のエイキミナコ先生のお話を聞きながら、自分のライオンを自由に描きましょう！主に低学年の子どもたちに好評の授業です。制作の前に読みきかせを行うため、お話を聞いて想像すること、絵をかくことの楽しさを体験できます。



〈講師プロフィール〉

エイキ ミナコ(絵本作家、イラストレーター)

新潟市在住。柔らかい色調で、動物や子供のイラストを描く事が多い。

自身の作品に、絵本『ちいさなライオン～夢の番人～』『しんちゃんの手紙』などがある。

●**授業案** (120分の場合)

はじめのあいさつ	5分
絵本『ちいさなライオン』読み聞かせ	15分
講師の説明のもと制作（個人作業）	35分
休憩	10分
制作のつづき	35分
作品鑑賞	10分
質疑応答、終わりのあいさつ	10分

●**学校で用意していただくもの**

鉛筆、画用紙、絵の具（水彩）、筆、パレットなど

プログラム 3. 紙帯を使って立体作品を作ろう！【11月中旬～2月】 ※月・水・木曜日のみ

工芸作家の小飯塚真理子先生と、紙を使って自由に立体作品を作ってみませんか？紙をねじったり、丸めたり、様々なかたちに変形させることで、紙に対する新しい発見につながります。授業の内容を事前に相談できるので、学年を問わず体験できます。



〈講師プロフィール〉

小飯塚 真理子(工芸作家)

新潟市出身。1975年からファイバーワークの作品発表を開始。79年には第9回国際タピストリービエンナーレ展に出品(スイス)。88年、89年にサロン・ド・パリ「日本の美」展(フランス)でアートワールド賞受賞。長岡造形大学や新潟大学で非常勤講師を務める。

新しい講師です！！

●授業案 (120分の場合)

はじめのあいさつ(新津美術館職員)	5分
小飯塚先生のお話、制作の説明	15分
作品制作	35分
休憩	10分
作品制作の続き	40分
作品鑑賞	10分
終わりのあいさつ(新津美術館職員)	5分

●学校で用意していただくもの

とくになし

プログラム 4. アートカードを使った鑑賞教育授業【12月～2月】

新津美術館の所蔵品を元に制作したアートカードを使用し「見る・考える・話す・聞く」といった鑑賞のための基本的な力を身につけます。また、学校・園内の美術作品をカードに加えることで、実物の作品との印象の違いについて話し合うなど、発展的な授業を行うことも可能です。

●授業案(ほんの一例です。学年、人数、ご希望に合わせて、その都度ご提案します)

・探偵ゲーム

親役が選んだ任意の一枚について、その特徴や印象について質問することで、どの作品か当てる。

・カルタの読み札作り

アートカードを絵札とし、作品の特徴や印象を「五・七・五」で表した読み札を制作する。

・展覧会作り

グループごとに展覧会のテーマを決め、テーマに見合った5、6枚のカードを使い、疑似展覧会を開催する。作品解説会(発表)を行い、全員で鑑賞する。



●授業例 (120分の場合)

はじめのあいさつ	10分
アートカードの紹介と読み札当てゲーム	25分
読み札作り	20分
展覧会作り	40分
展覧会の発表、解説	15分
授業の振り返り、終わりのあいさつ	10分

●学校で用意していただくもの

筆記用具、方眼紙など

【各プログラムのお問い合わせ】

新潟市新津美術館 担当 栗原、斎藤

〒956-0846 新潟市秋葉区蒲ヶ沢 109-1

MAIL : museum.ni@city.niigata.lg.jp

TEL : 0250-25-1300 FAX : 0250-25-1303

HP : http://www.city.niigata.lg.jp/nam/